

4/19 「ミス・オブ・ザ・イヤー」  
世界大会出場報告

女性の活躍やジェンダー平等の後押しがコンセプトの「ミス・オブ・ザ・イヤー」世界大会に初出場したことを石原 維凡さんが浅田市長に報告しました。55歳で始めたフラダンスを通じて、東日本大震災被災地の復興支援に尽力しながら、荒尾干潟の清掃活動や干潟に沈む夕日の写真をSNSで紹介するなど荒尾干潟の魅力発信に取り組み、今後も荒尾干潟を中心に社会貢献につながる活動を続けたいと語りました。



4/14 15 華麗に舞う子ども神楽  
上荒尾熊野座神社神楽奉納

上荒尾熊野座神社の春季例大祭(ごんげんさん)にて、約170年の歴史がある荒尾市指定無形民俗文化財「上荒尾熊野座神社神楽(通称:上小路子ども神楽)」が五穀豊穡・家内安全を祈願して奉納されました。昨年はコロナのため内容を縮小していましたが、今年は2日間とも全演目奉納されました。14日の夜神楽が始まる前には、数年ぶりに餅投げも行われ、地域のみなさんの笑顔が溢れました。



6/4 第17回 健康福祉まつり  
文化センターで4年ぶりに開催!

「健康福祉まつり」では、医療・福祉団体の相談や展示・体験コーナーをはじめ、くまモンも登場! 多くの来場者で賑わいました。水俣病資料館の語り部として活動する杉本 肇さんの記念講演では、水俣病が奪った家内のつながり、当時の想いや生活の様子が聞け、過去を未来へつなげることの大切さを学びました。



100歳おめでとうございます!  
中島 ミツアさん(桜山町四丁目)

5月5日に100歳を迎えました。大分県玖珠郡に生まれ、幼いころから兄弟姉妹のために農作業や炊事の手伝いに勤しみました。18歳で結婚後も、田植えや畳店の仕事などで家庭を支えました。長生きの秘訣は、規則正しい生活を送り、よく食べること。今でも身の回りのことは自分で管理しているそうです。



地域の活動掲示板 荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

こいのぼり掲揚



SDGs.11 4/23 住み続けられるまちづくりを  
平井地区協議会

今年も平井地区協議会主催で、岩本橋付近の関川の両岸にワイヤーを張り、こいのぼり約40匹を掲揚しました。このこいのぼりは長年地域住民が持ち寄ったもので、色も表情もさまざま。関川の上を泳ぐように、たくさんこいのぼりが浮かぶ光景が道行く人を楽しませていました。

ポッチャ大会



SDGs.3 4/15 すべての人に健康と福祉を  
桜山げんきかい

地域の健康づくりと交流のために、桜山げんきかい主催のポッチャ大会を開催しました。当日は地域住民40人以上が参加し、久しぶりの交流を楽しみました。競技終了後には、参加者が一回ずつ投げて、的までの距離が一番近い人を決めるニアピン賞も開催し、盛り上がりを見せました。

5/8 民生委員・児童委員に対する  
厚生労働大臣特別表彰伝達式

民生委員・児童委員として長年活動され、職務に精励し、功績が顕著である人に贈られる「民生委員・児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰」を、民生委員・児童委員の京極 昌憲さん、村松 淳志さん、前田 宏喜さん、植松 陸郎さん、村上 邦公さん、田端 時義さんが受賞しました。皆さんは、15~25年以上にわたり民生委員・児童委員として地域福祉の推進に尽力されました。 ※表彰基準日:令和4年11月30日現在



5/11 人権擁護委員に  
法務大臣感謝状を贈呈

3月31日付けで村松 淳志さんが人権擁護委員を退任し、伝達式では市長が法務大臣感謝状を贈りました。村松さんは、平成23年4月から4期12年にわたり人権啓発活動や相談業務、玉名人権擁護委員協議会での活動など、大きな功績を残しました。4月1日から新たに人権擁護委員になった米井 洋美さん、2期目の小島 一寿さんは、今後「人権フェスティバル」などの啓発活動や相談業務での活躍が期待されます。



# 解体工事や リフォーム時に アスベスト対策 していますか？

問 建築住宅課 建築営繕係 ☎63-1498

アスベストに起因する疾病発症を防止するために、現在はアスベスト含有建材の製造・使用などが法令で禁止されていますが、禁止される前の2006年8月末までに着工した住宅などには、使用されている可能性があります。施工した普段の状態では特に影響はありませんが、解体工事・リフォームなどの際にはアスベスト飛散によるばく露防止のため、適切なアスベスト対策が必要となります。 〈住宅リフォームガイドブック(国土交通省住宅局)から引用〉

## ■アスベストを含む建材が使われている可能性のある部位例



解体工事・リフォームなどを施工業者に依頼する場合は、法令で定められているアスベスト対策について、事業者に手順や施工費用などを確認してください。

## 健康管理手帳制度を知っていますか？

アスベストの取扱い業務や粉じん作業とその他の重度の健康障害を発生させるおそれのある業務に従事したことがある場合に、将来、肺がんなどの健康障害が発生することがあります。これらの業務に起因する疾病は、発症までの期間が長く、退職後に発症することが多いため、健康管理手帳制度が設けられています。健康管理手帳の交付対象者は、労働者として雇用されて対象業務に従事したことがあること、雇

用されていた事業主からの該当業務の従事歴証明などが必要となります。健康管理手帳の交付を受けると、指定された医療機関で定められた項目による健康診断を、決まった時期に6カ月に1回(じん肺の健康管理手帳は年に1回)、無料で受けることができます。詳しくは、下記までお問合せください。

問 熊本労働局 健康安全課 ☎096-355-3186

**気をつけて！**

アスベスト関連疾病はアスベスト粉じんによる飛散ばく露後、15年～40年経過後に肺がんや中皮腫などの健康被害が発生する場合があります、死亡原因の1つになっています。

Smart City News!

## 「デジタル田園都市国家構想交付金」に

## スマートシティの取り組みが採択されました！

市は、健康で長生きできるまちの実現に向け、NECソリューションイノベータ(株)とフォーネスライフ(株)とともに、官民連携の「スマートシティプロジェクト」に取り組んでいます。

今年度、国の交付金8,500万円を活用し、次の3つを導入します！

**1 NEC 健診結果予測シミュレーション** 過去の健診結果をAIで分析し、将来の健康状態を予測します。

**2 フォーネスビジュアル検査** 血液中の約7,000種類のタンパク質のバランスを独自の技術で解析し、将来の疾病リスクを予測します。

検査でこんなことが分かります！

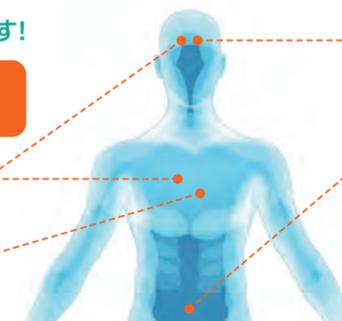
将来の疾患予測 + 現在の体の状態

**心筋梗塞・脳卒中**  
4年以内の発症リスク

**肺がん**  
5年以内の発症リスク

**認知症**  
20年以内の発症リスク

**体の状態**  
耐糖能・肝臓脂肪・アルコールの影響・心肺持久力(最大酸素摂取量)・内臓脂肪・安静時代謝量



**3 電子版 あらお健康手帳** 医療情報やおくすり手帳・日常健康データを一元的に管理します。

市民



住民が自ら診察情報などの健康情報を管理できます

- 医療連携情報・・・医療機関の診断情報を記録
- おくすり情報・・・処方や購入した薬を記録
- 日常の健康記録・・・血圧・体重・体温などの健康データ

医師



診察時に患者が管理する既往歴などの医療・健康情報を閲覧したり、診断内容を入力したりできます。

特徴

家族間の健康データ管理が可能に！

家族のデータも1つの電子健康手帳でまとめて管理可能です。



取り組みの進捗状況はホームページでお知らせしますのでご期待ください！

NEC公式サイトでも市の取り組みが紹介されています。▶

